



地域で見守ろう!



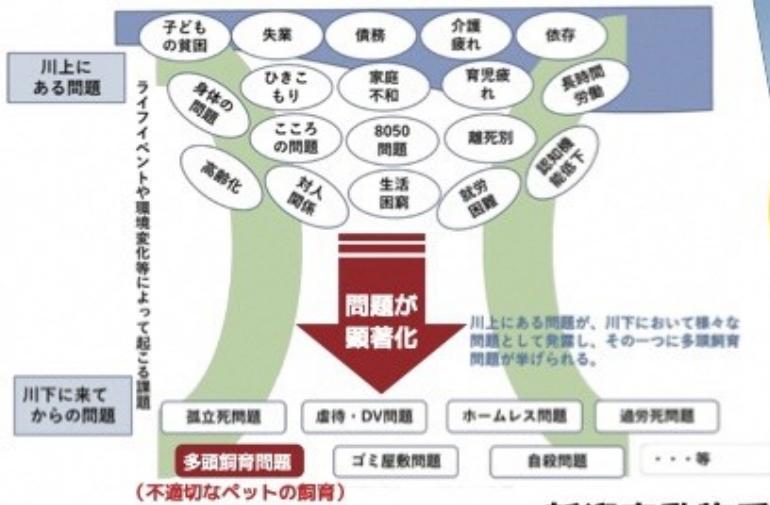
ペットは飼い主の バロメーター



貧困、認知症の進行、虐待など…
ペットを見れば飼い主の状態がわかる!

環境省がガイドラインを策定

令和3年3月26日、多数の動物を抱え適切に飼養管理できなくなってしまう「多頭飼育問題」に、地方自治体を始め多くの関係者が連携して取り組むための方策をまとめた「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」を環境省が策定し、公表しました。飼い主が手に負えなくなった「多頭飼育」は、悪臭、騒音、ゴミ屋敷化など問題が周囲からも見えやすく、近隣住民にも弊害が及びます。



飼い主支援=動物支援→福祉へ

「多頭飼育問題」など不適切な飼育の背景には、飼い主の経済的困窮や社会的孤立による生活困窮といった問題があり、社会福祉的な支援を必要とする飼い主が多いこと、再発のリスクが高いことから「人の問題」と「動物の問題」として別々にとらえるのではなく、関係者が連携して対応し、それぞれに必要な福祉へつなげることが重要です。



環境省「多頭飼育問題」
ガイドライン

